

29 幸手宿 ~ 栗橋宿

埼玉県幸手市 埼玉県久喜市
権現堂 ~ 小右衛門

(歩行距離 1795m 20分)

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaido.jp/
JZE00512@nifty.ne.jp

小右衛門の狭いトンネル

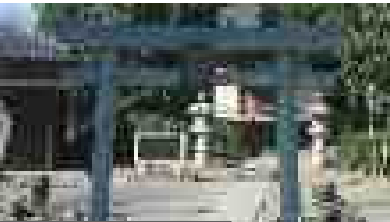


雷電社 湯殿社 狛犬

狛犬
 狛犬(こまいぬ)とは、獅子や犬に似た日本の獣で、想像上の生物とされる。像として神社や寺院の入口の両脇、あるいは本殿・本堂の正面左右などに一対で向き合う形、または守るべき寺社に背を向け、参拝者と正対する形で置かれる事が多く、またその際には無角の獅子と有角の狛犬とが一対とされる。

飛鳥時代に日本に伝わった当初は左右の姿に差異はなかったが、平安時代になってそれぞれ異なる外見を持つ獅子と狛犬の像が対で置かれるようになり、狭義には後者のみを「狛犬」と称すが、現在では両者を併せて狛犬と呼ぶのが一般化している。

一般的に、獅子・狛犬は向かって右側の獅子像が「阿形(あぎょう)」で口を開いており、左側の狛犬像が「吽形(うんぎょう)」で口を閉じ、古くは角を持っていた。鎌倉時代後期以降になると様式が簡略化されたものが出現しはじめ、昭和時代以降に作られた物は左右ともに角が無い物が多く、口の開き方以外に外見上の差異がなくなっている。これらは本来「獅子」と呼ぶべきものであるが、今日では両方の像を合わせて「狛犬」と称することが多い。



雷電社 湯殿社合殿

「湯殿権現 雷電合社」(日光道中略記)石の鳥居の額に「雷電 湯殿権現」と刻まれ、境内には庚申塔、如意輪観音などの石仏があり、右の地藏堂の鯛口は銅製で、元禄年間(1688~1704)製造



日光街道の道しるべ

日光道中の道しるべ
 安永4年(1775年)に日光道中と筑波道の分岐点に建てられたもので、正面には「右つくば道」左側面には「左日光道」右側面には「東川つま道 まいばやし道」と刻まれている。

川妻は茨城県五霞町字川妻、前林は茨城県総和村前林のこと。この辺から「外国府間村」(日光道中略記)に入っていく。昭和58年3月24日に市指定史跡となっています。

栗橋城址への行き方
 船戸橋を渡り、左にマツモト酒店がある信号を過ぎ、カワムラ・幸手霊園法宣寺・三峰工業入口の矢印がある交差点を左に曲がり、まっすぐ行くとつきあたりに鳥居が見えてくる。左にスガマ設備・TOTO・Panasonic右に三隆工業の看板がある。Panasonicの看板の手前に路地がある。左に「栗橋城」の案内板がある。路地は松本家の敷地で、許可をもらえば、およそ500年前の七曲の空堀や土塁などを見ることができる。

「小右衛門新田」(五海道中細見独案内)「此村より栗橋までの往還は、利根川除の隄上(ていじょう)にして、右のかたに利根川(権現堂川の誤り)流れ、左のかたは水田うちつき路をさしはさみて竹篠生じけり」(日光道中略記)という風景であった。

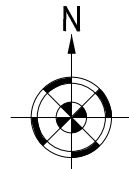
坂を上り4号線に出てすぐ細い道を下っていく。
 4号線の土手下の道を歩く。車1台通れる狭い道。

そんなに古くないが趣のある吉羽酒店
 クリナップの看板
 山王木材

日光街道の道しるべ
 ①
 消火栓。オリエンテーリングのポストがある。
 松本設計 栗橋城址址まで1314m 17分
 ②
 外国府間

共進旅行サービス
 あったかい手
 狭く歩道がない

栗橋城址の案内板



栗橋城址